

ボウ・サミット・ルックアウト・トレイル 山旅報告

No. 6

日 時：2026 年〔令和 8 年〕7 月 3 日

参 加 者：岡村眞由美・岡村繁雄 他 2 名

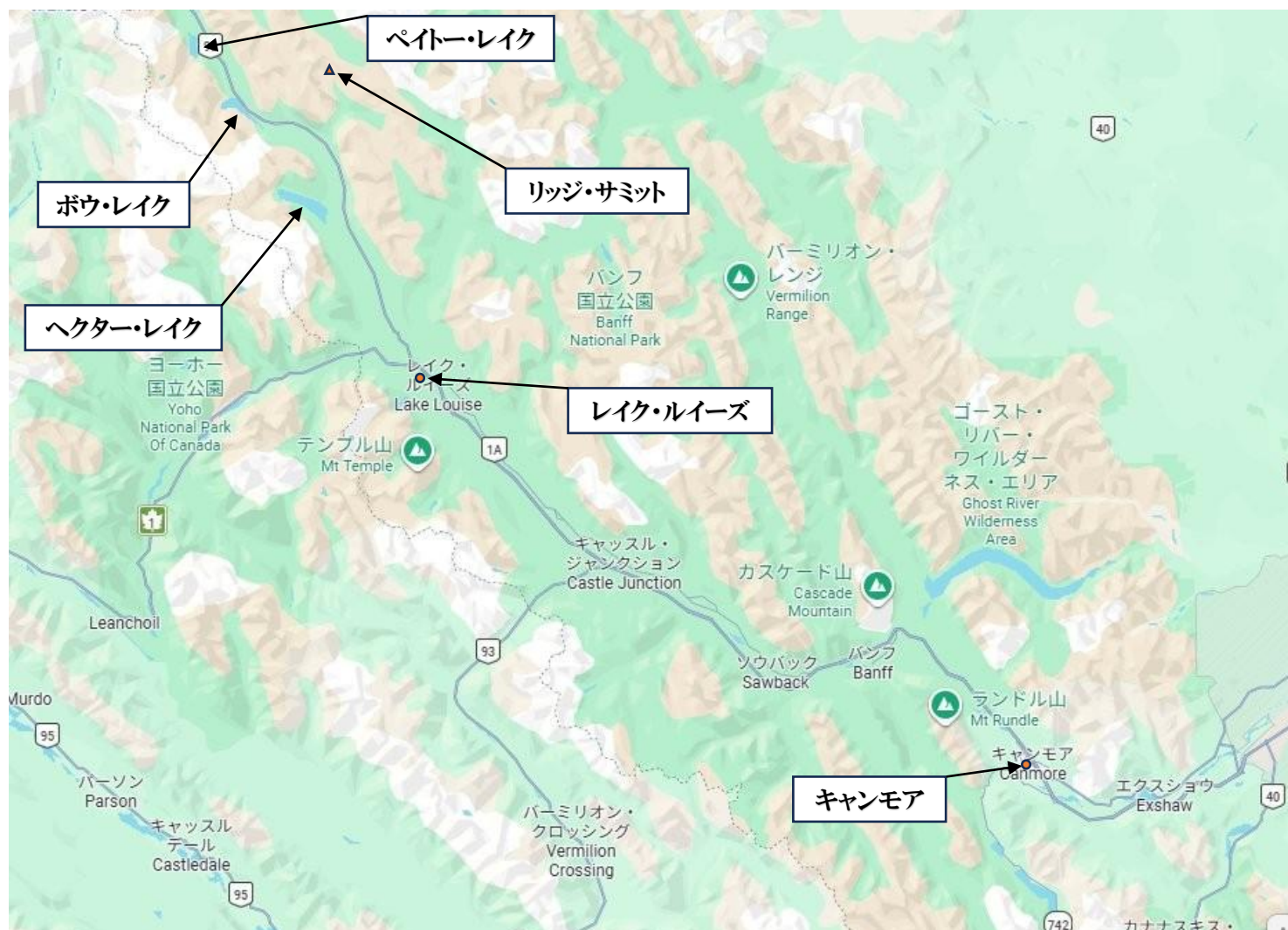
行 程：ペイトー・レイク駐車場 → ペイトー・レイク展望台 → ボウ・サミット・ルックアウト
→ ペイトー・レイク展望台 → ペイトー・レイク駐車場

行動時間：2 時間 45 分（登り 1 時間 20 分）

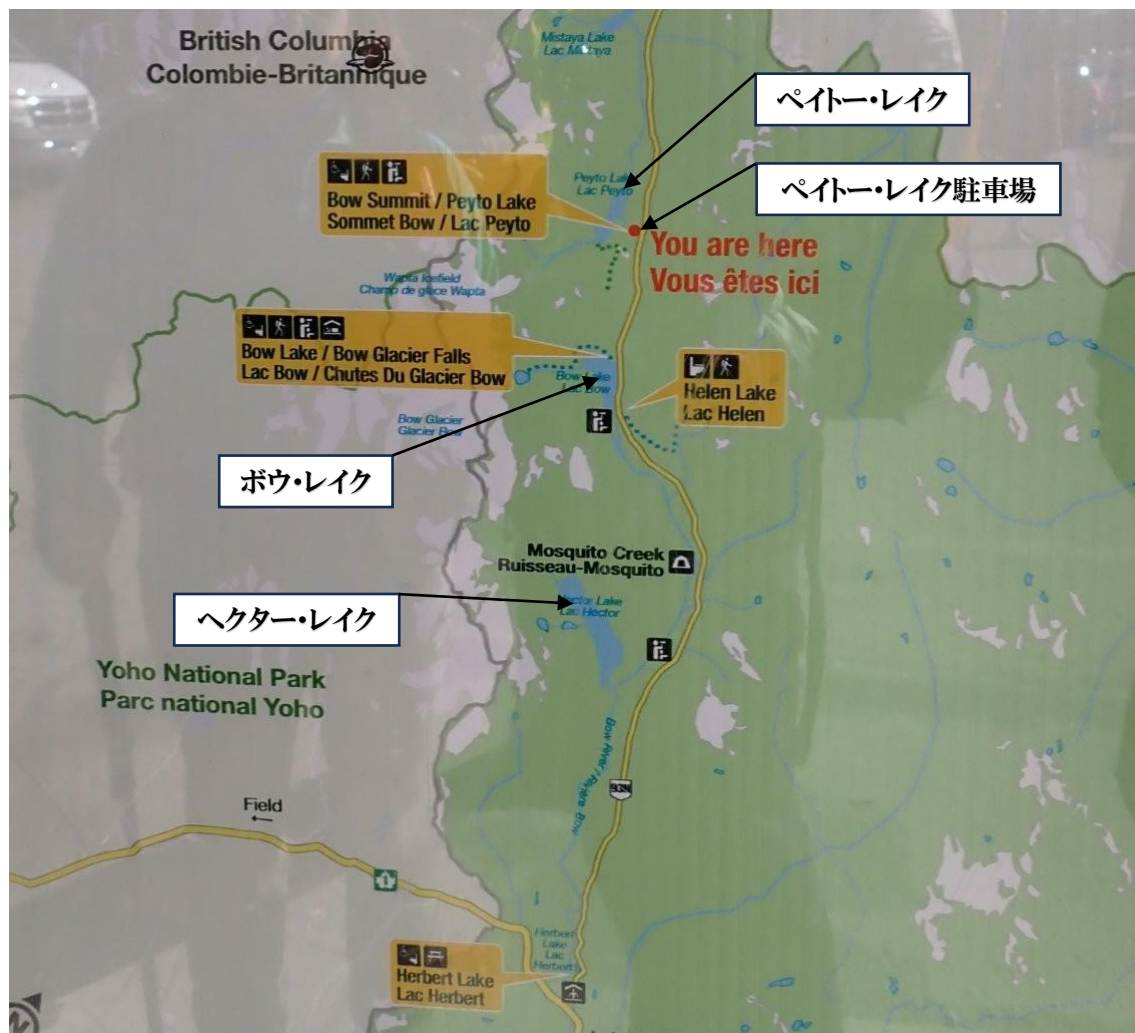
当初は、ヘレン・レイク・トレイルからリッジ・サミットへ向かう予定であった。しかし、キャンモアを出発してレイク・ルイズ付近まで来ると雨が降り始めた。ヘレン・レイク駐車場に到着した頃には雨は止んでいたものの、山の上は厚い雲に覆われていた。

一方、北側のペイトー・レイク(Peyto Lake) 方面は、曇り空ではあるものの比較的雲が少なかった。そこで予定を変更し、天候の様子を見ながらペイトー・レイク周辺を歩くことにした。

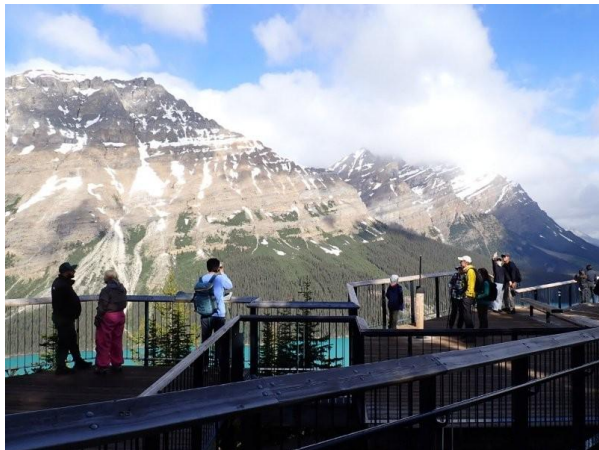
ヘレン・レイク駐車場からペイトー・レイク駐車場までは、車で約 10 分。途中、ボウ・レイクから南のレイク・ルイズ方面には厚い雲が垂れ込めていたが、ペイトー・レイク周辺は薄曇りで、視界も比較的良好であった。そのため、ボウ・サミット・ルックアウトを目指すことにした。



Google マップより



掲示板より



ペイトー・レイク
展望台にて



ペイトー・レイク展望台よりペイトー・レイクを望む

駐車場から坂道を少し登ると、ペイトー・レイク展望台に到着する。ここまでは観光客が非常に多く、展望台は大勢の人で賑わっていた。

眼下には、深いコバルトブルーのペイトー・レイクが広がっている。その美しい湖を目の当たりにすると、この展望台がいつも多くの観光客で賑わっている理由がよく分かる。我々も写真撮影を楽しんだ後、ボウ・サミット・ルックアウトへ向かった。

展望台から先は観光客も少なくなり、整備された緩やかな登り坂が続く。途中には、谷に残る雪渓を横断する箇所があり、7月に入ってもなお残る雪に、カナディアン・ロッキーの初夏らしい風景を感じることができた。

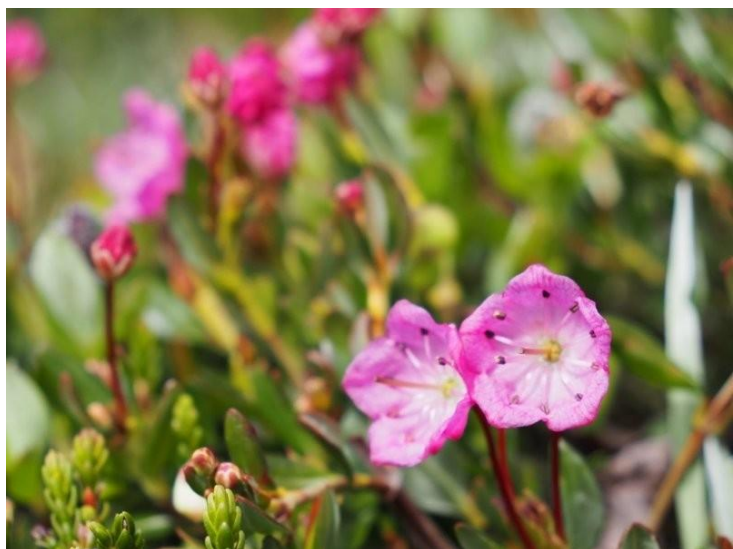


谷に残る雪渓を横断

雪溪の雪解け水が
流れる場所のお花畑



イチリンソウ属
ウェスタン アネモネ
(Western Anemone)



ツツジ科 ノーザン ローレル (Northern Laurel)





前方 ジミー・シンプソン山

雪溪の雪解け水が登山道沿いを流れ、その周辺には色とりどりの花々が咲いていた。雪の残る山肌と可憐な高山植物を同時に見ることができ、ロッキーならではの美しい光景であった。

やがて、ボウ・サミット・ルックアウトに到着した。

ここからは、ジミー・シンプソン山(Mount Jimmy Simpson)の山腹越しに、眼下に広がるボウ・レイク(Bow Lake)を望むことができた。

しかし、ボウ・レイク方面は曇り空で、湖面には日が差していなかった。そのため、期待していたような鮮やかな写真にはならなかった。それでも、雄大な山々に囲まれたボウ・レイクを高所から眺めることができ、十分に満足できる展望であった。



ボウ・サミット・ルックアウトよりボウ・レイクを望む



後方 ボウ・レイク



ボウ・サミット・ルック
クアウより下山

帰路では、もう一度ペイトー・レイク展望台に立ち寄ったが、今度は観光客でごった返していた。駐車場も満車で、入口付近まで車の列が続いており、駐車を諦めてUターンする車も見られた。

ペイトー・レイクがカナディアン・ロッキーを代表する人気観光地であることを、改めて実感した。

この日は天候が不安定で、当初の予定を変更することになったが、ペイトー・レイク周辺では雨に降られることなく歩き通すことができた。下山して駐車場に戻り、靴を履き替え終えた頃から雨が降り始めた。結局、一度も雨具を使うことなく行動を終えられたのは幸運であった。

天候に翻弄されながらも、その時々状況に応じて行き先を変更したことで、ペイトー・レイクの美しい景観をはじめ、雪渓や高山植物、そしてボウ・レイクを望む展望を楽しむことができた。予定変更から始まった山歩きであったが、結果的には、カナディアン・ロッキーの初夏らしい風景を存分に楽しむことができた一日となった。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura